

～やさしい日本語普及連絡会～

2025年2月8日(土) @ミューゼ雪小町



やさしい日本語ミニ講座 -吉開章氏を迎えて-



元電通マン 著書多数の
吉開章さんが
上越市にやってくる!

やさしい日本語って?
吉開さんに 聞いてみよう

2月8日 土曜日 午後5時30分～6時45分

会場 ミューゼ雪小町(あすとぴあ高田5階)
第一多目的室

参加費 無料

連絡先: 吉開章さんと話そう実行委員会
(岩波・佐藤・倉辻)

外国人対応に役立つ、日本語を母語とする誰もがができるツールとしてのやさしい日本語。その普及に努めるやさしい日本語普及連絡会代表理事の吉開章氏が講演しました。

やさしい日本語の有用性・やさしくする方法—「はさみの法則(はっきり・さいごまで・みじかく)言う」、外国人や障害者を疎外する「第三者返答」—など説得力のある講演でした。

大雪にもかかわらず20名近くの方が集まり、熱心にまた楽しくお話を伺いました。

日常に活かされると良いです。

吉開さんが「やさしい日本語」について講演。上越国際交流協会(JOLIN)の外国人医療支援グループ「じょんなび」メンバーらが企画した



「やさしい日本語」に関する講演会が8日、上越市本町のミューゼ雪小町で開かれた。講師は、やさしい日本語普及連絡会の代表理事を務める吉開章さん(58)。約20人が参加した。

「やさしい日本語」とは、日本語を母語としない外国人など、日本語の理解やコミュニケーションに何らかの困難を抱えている人のために配慮された日本語表現を指す。平成7年に発生した阪神淡路大震災で、外国人に必要な情報が行き渡らなかったことを教訓に考案された。

吉開さんは外国人だけでなく、視覚・聴



や聴覚障害者、尊厳や謙譲語がこれらの人にとって難しく感じられるとし、合理的配慮の観点からも「やさしい日本語」の必要性を説いた。

思いを伝える手法として、吉開さんは「はっきり」「さいごまで」「みじかく」「言うことを心がける」「ハサミの法則」を紹介。「言葉とは、伝えたいことの本質をつかむこと」と話した。

意思疎通に「ハサミの法則」 「やさしい日本語」へ理解

上越市で講演